

121004 バナナムシ…?

5月の末頃から姿を見なくなっていた「バナナムシ」、この時期になって再びよく見かけるようになってきました。

もちろん「バナナムシ」というのは子どもたちによる“愛称”のことで、種名は「ツマグロオオヨコバイ」といいます。

体長は13mmくらいです。

“ツマ”というのは着物の裾(すそ)のことで、“先”という意味で使われることがよくあります。

命名の由来は、“羽の先が黒くて、大きくて、横に這って歩く”ということでしょう。

“ヨコバイ”の名のとおり、この虫に近寄ると横に移動して葉っぱの裏側に回り込んだり、茎の裏側に回り込む、という逃げ方が得意です。

それでもさらに近づくと、ヒュンツ という感じで鋭く飛んで逃げるのです。

また、この種は「セミ」の近縁種で、ストローのような口を植物の茎や葉に刺して汁を吸っています。

もう、一日の大半の時間をこの食事に費やしているようです。

ちなみに、イネの害虫として嫌われているのは、一回り小さな「ツマグロヨコバイ」という種で、本種のような黒い点はありません。

◆写真①～④： ツマグロオオヨコバイ

◇④の写真は、2匹で何か打合せをしているところみたいです…

◆写真⑤・⑥： 幼虫登場

◇幼虫と成虫が“お見合い”していますね…

◇幼虫は、よりバナナに似ており、何となくひょうきんな感じです

◇お互い、相手のことを同種と分かっているのかどうか…

◆写真⑦： クモの巣に…

◇ツマグロオオヨコバイがクモの巣にかかってしまいました。

◇あわてて近寄って、クモによる捕食の瞬間を撮影しようと思ったのですが…

◇ヨコバイ君はスルスルっとクモの巣上を移動して、見事に脱出成功！

なかなかのやり手ですね…













